



NEXPO
(長久手・万博継承会)
リニモ部会長
まつばら とし ゆき
松原敏之さん

「リニモへの
感謝を込めた
清掃活動」

ネクスポ
「NEXPO」とは？

愛知万博の時のボランティア活動がきっかけで発足しました。万博閉幕後も万博の理念を継承し、郷土の住みよいまちづくりを進めようと考え、集まった団体です。いくつかある部会の一つに、リニモ部会があります。

これまでの取り組みを教えてください

リニモ部会が、現在メインで行っている活動は、「ありがとうクリーン」と「リニモギャラリー事業」です。

「ありがとうクリーン」とは、リニモ沿線合同大学祭(以降、リニ祭)の学生と連携して行ってきたリニモの清掃活動です。NEXPOからリニ祭に提案し、今ではリニ祭が主体的に活動してくれています。NEXPOはサポート役として積極的に参加しています。平成25年度から毎年2回行っています。

「リニモギャラリー事業」とは、はなみずき通駅と杵ヶ池公園駅に、それぞれ約1か月間、地元の子どもの作品などを駅の通路に展示し、地域のみなさまに見ていただく事業です。平成18年から毎年春と秋に展示を行っています。



今後のリニモについて

リニモは、万博で大役を果たし、今では地域の足としてなくてはならないものです。私たちも駅の美化などを始め、様々な形でリニモを支えていきます。

公共交通応援隊とは？

公共交通応援隊は、長久手市の公共交通を盛り上げるために集ったグループです。その中で、私が所属するキッズイベントグループでは、子ども向けのイベントを企画・運営しています。将来の公共交通利用者である子どもに公共交通に親しみを持ってもらうことや、子どもが大人になった時に思い出してくれるような思い出づくりを目的としています。

これまでの取り組みを教えてください

平成28年3月に開催した公共交通交流会では、子どもが絵を描いた紙でNーバスをラッピングする企画やリニモを作って乗ろうといった企画を行い、約260人の子どもたちが参加してくれました。

また、夏休みにはNーバスを使ったツアーや、11月にはNーバスのバス停をクイズにしたスタンプラリーなどのイベントも行いました。



「子どもたちに思い出を」



公共交通応援隊 キッズイベントグループ
ひと み あきら
人見昭さん

今後のリニモについて

リニモが出来てから10年以上が立ち、リニモも地域に浸透してきたと思います。リニモをはじめとした公共交通に親しみを持ってくれる人が増えるとうれしいですね。

まとめ

先月・今月号と2回にわたってリニモの特集を行いました。今月号は、あまり知られていない経営状況、市民のみなさんの取り組みについて紹介しました。今後も、リニモについては定期的に市民のみなさんにお伝えしていきます。長久手市はこれからもリニモと共に成長していきます。